

2020年度 電子情報通信学会 第4回 SWIM 専門委員会 議事録(案)

○開催日時:2021年2月19日(金) 10:00-12:00

○場 所 :オンライン開催

○出席者 : 片岡, 小倉, 小松, 荻野, 石野, 工藤, 山田, 辻, 須栗, 宇田川, 堀米,
能上, 上田, 林, 五月女
(敬称略・順不同)

議題:

1. 2021年度事業計画(案) (体制, 各種委員, 研究会, 専門委員会)
2. 論文賞選考委員会
3. その他

1. 2020年度体制

① 2020年度体制(委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補)

| | | | |
|------|--------|------|-------|
| 委員長 | 石野 正彦 | -- | -- |
| 副委員長 | 五月女 健治 | 副委員長 | 林 章浩 |
| 幹事 | 能上 慎也 | 幹事 | 山田 耕嗣 |
| 幹事補 | 工藤 司 | 幹事補 | 辻 孝吉 |

② 専門委員

2020年度専門委員は下記の通り

役職名称 氏名 (所属)

委員長 石野 正彦 (文教大学 情報学部 情報社会学科)
 副委員長 五月女 健治 (法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科)
 副委員長 林 章浩 (静岡理工科大学 情報学部情報デザイン学科)
 幹事 能上 慎也 (東京理科大経営学部経営学科)
 幹事 山田 耕嗣 (大阪産業大学デザイン工学部情報システム学科)
 幹事補佐 工藤 司 (静岡理工科大学 情報学部 コンピュータシステム学科)
 幹事補佐 辻 孝吉 (愛知県立大学 情報科学部)
 専門委員 荻野 正 (明星大学 情報学部 情報学科)
 専門委員 宇田川 佳久 (東京情報大学 総合情報学部)
 専門委員 丸山 文宏 (産業技術総合研究所)
 専門委員 結城 修(キャル(株)宇都宮事業所光学技術研究所) **連絡して処置する(石野委員長)**
 専門委員 須栗 裕樹 (宮城大学 事業構想学群)
 専門委員 堀米 明 (株式会社フィンオ 経営戦略室長)
 専門委員 片岡 信弘 (元東海大学, インテグライズ 研)
 専門委員 新川 芳行 (元龍谷大学) **連絡する(片岡先生)**
 専門委員 宮西 洋太郎 (株式会社アイエスイーエム 元宮城大学)
 専門委員 増井 久之 (電気学会 IEEJ プロフェッショナル)
 専門委員 黒瀬 晋 (元 NEC)
 専門委員 小松 昭英 (APSOM)
 専門委員 北村 浩(摂南大学 経営学部)
 専門委員 上田 敏樹(東洋大学国際学部)
 専門委員 伊藤 修朗(榊豊田中央研究所)
 専門委員 染谷 治志(鳥取環境大学 経営学部 経営学科)
 専門委員 平塚 三好(東京理科大 工学部)
 専門委員 小野里 好邦(放送大学)
 専門委員 小倉 博行(日本大学商学部)

③ 2020 年度の各種委員

| 業務 | 2019 年度 | 備考 |
|--------------|----------|-----------------|
| 会計 | 能上 | 学会の仕事 |
| ソサエティ誌委員 | 五月女 | 学会の仕事 |
| FIT | 林 | 学会の仕事 |
| 総合大会 | 荻野 | 学会の仕事 |
| ホームページ | 須栗 | IEICE 上 |
| メーリングリスト | 須栗 | IEICE 上 |
| swim-news | 片岡 | Google 上 |
| 優秀論文表彰委員会委員長 | 委員長 | 表彰委員会規定による |
| 表彰委員会委員幹事 | SWIM 幹事 | |
| 表彰委員会委員 | 幹事, 専門委員 | |
| 査読委員長 | 須栗 | 9 後半締切後, 11 月採否 |
| ICEIS の担当 | 須栗 | |
| ISS 功労表彰 | 委員長マター | |
| 進捗管理(活動フォロー) | 片岡 | |
| 英文誌編集委員 | 工藤 | |

2. 2020 年度計画(フォロー)

① 2020 年度の各研究会の開催場所・世話人・テーマ

| | 日時 | 開催場所 | 世話人 | CFP | プログラム締切 (発表申込締切) | 論文 件数 | ページ 数予定 | 備考 |
|--------------------|-------------------------------------|--|----------|----------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|---|
| 第1回 研究会 開催中止 | 5月22日 (金)23 日(土) | 機械振興会館 | 荻野 上田 | 1月 中旬 | | 10 | 60 | デジタルエコミーとインタブ ライズ, 一般 ※KBSE と共催, |
| 第2回研 究会 | 8月21日 (金) | オンライン開催 | 五月女 | 5月 初旬 | 6月12日 6月21日 | 11 6 | 67 33 | ソサエティ5.0に向けたサ ービスコンピューティングとイ ンタブライズモデル化技 術, 一般 ※SC と共催確定 |
| FIT2020 | 9月1日 (火)-3日 (木) | 北海道大学 オンライン開催 | 林 | | | -- | -- | 聴講者は当日参加費 の半額 |
| 第3回研 究会 | 11月28日 (土) | 機械振興会館 オンライン開催 | 小倉 | 7月 中旬 | 9月25日 | 8 6 | 64 45 | 経営とIT, 一般 (ワークショップ) 基調講演: 富士通研 究所の丸山委員「AI の国際標準化」 |
| 第4回研 究会 | 2月19日 (金) | 機械振興会館 イベント開催 オンライン開催 | 山田 | 11月 月上旬 | 12月25日 | 8 | 50 | ビジネス評価と信頼 性, 学生セッション, 一般 基調講演の候補 は, SCSK(株) 上席執行 役員 古宮浩行氏 |
| 2021年 総合大会 | 3月9日か ら12日 | 東工大 | 荻野 | | | -- | -- | |
| | | | | | 合計 | 37 20 | 241 128 | |

- ・ 基調講演者も論文1ページ目だけでも概要を書いて頂くと発表件数に加えることが出来る。
- ・ 研究会の発表時間について, 標準時間は, 発表時間 25分・質疑応答 10分とする。

② 2020 年度専門委員会計画

専門委員会の開催は研究会開催日に合わせた開催とする。第 2 回のみ 8/31(月)に開催とする。

| | 日時 | 開催場所 | テーマ |
|------------|---------------------------|--|--|
| 第 1 回専門委員会 | 5 月 23 日(土) 10 時-12 時 | オンライン開催 | 年度実行計画 FIT2020 フォロー |
| 第 2 回専門委員会 | 8 月 31 日(月) 10 時-12 時 | オンライン開催 | 来年度計画, 功労賞他 年度実行計画フォロー 2021 年度事業計画 |
| 第 3 回専門委員会 | 11 月 28 日(土) 10 時-12 時 | 機械振興会館 オンライン開催 | 2021 年度体制 総合大会フォロー |
| 第 4 回専門委員会 | 2 月 19 日(金) 10 時-12 時 | 機械振興会館 および オンライン開催 | 論文賞選考委員会の立ち上げ 2021 年度新体制の提出 |

③ 能上先生から学会への会計報告状況について

能上先生から会計報告があった。残高は 357,000 円あり, 残金は年度末でいったん学会へ返金してリセットされ, 翌年度に規定額が割り当てられる。

3. 2021 年度事業計画

次年度の活動計画と予算案をまとめる。

① 2021 年度体制(委員長, 副委員長, 幹事, 幹事補)

| | | | |
|------|--------|------|-------|
| 委員長 | 五月女 健治 | -- | -- |
| 副委員長 | 林 章浩 | 副委員長 | |
| 幹事 | 能上 慎也 | 幹事 | 山田 耕嗣 |
| 幹事補 | 工藤 司 | 幹事補 | 辻 孝吉 |

② 2021 年度の各種委員

| 業務 | 2021 年度 | 備考 |
|--------------|----------|-----------------|
| 会計 | 能上 | 学会の仕事 |
| ウェブ誌委員 | 五月女 | 学会の仕事 |
| FIT | 林 | 学会の仕事 |
| 総合大会 | 荻野 | 学会の仕事 |
| ホームページ | 須栗 | IEICE 上 |
| メーリングリスト | 須栗 | IEICE 上 |
| swim-news | 片岡 | Google 上 |
| 優秀論文表彰委員会委員長 | 委員長 | 表彰委員会規定による |
| 表彰委員会委員幹事 | SWIM 幹事 | |
| 表彰委員会委員 | 幹事, 専門委員 | |
| 査読委員長 | 須栗 | 9 後半締切後, 11 月採否 |
| ICEIS の担当 | 須栗 | |
| ISS 功労表彰 | 委員長マター | |
| 進捗管理(活動フォロー) | 片岡 | |
| 英文誌編集委員 | 工藤 | |

③ 2021 年度の各研究会の開催場所・世話人・テーマ

| | 日時(仮) | 開催場所 | 世話人 | CFP | プログラム締切 (発表申込締切) | 論文 件数 | ページ 数予定 | 備考 |
|---------------|-------------------------|----------------------------|-----|-----------|---------------------|----------|------------|--|
| 第1回研究会 | 5月21日 (金)-22日 (土) | 機械振興会館 可能なら6F | 辻 | 1月 中旬 | 3月5日 | 11 | 70 | デジタルエコノミーとインタ プライズ, 一般 ※KBSE と共催 |
| 第2回研 究会 | 8月25-27 日 | FIT2021 開催場所 オンライン開催 | 山田 | 5月 初旬 | 6月中旬 | 11 | 70 | ソサエティ 5.0 に向け たサービスコンピュテイン グとインタプライズモデ ル化技術, 一般 ※SC と共催(運用 方法を SC 菊地様 に確認する) |
| FIT2021 | 8月25-27 日 | オンライン開催 | 林 | | | -- | -- | SC との共催の上 FIT 内で開催 |
| 第3回研 究会 | 11月27 日(土) | 機械振興会館 可能なら6F | 小倉 | 7月 中旬 | 9月下旬 | 10 | 60 | 経営と IT, 一般 (ワークショップ) |
| 第4回研 究会 | 2月18日 (金) | 機械振興会館 可能なら6F | 工藤 | 11 月上旬 | 12月中旬 | 8 | 50 | ビジネス評価と信頼 性, 学生セッション, 一 般 |
| 2022年 総合大会 | 3月15日 (火)-18日 (金) | 新潟大学 | 荻野 | | | -- | -- | |
| | | | | | 合計 | 40 | 250 | |

④2021 年度専門委員会計画

専門委員会の開催は研究会開催日に合わせた開催とする. 第2回のみ8/30(月)に開催とする.

| | 日時 | 開催場所 | テーマ |
|----------|----------------------|---------------------|---|
| 第1回専門委員会 | 5月22日(土) 午後 | 機械振興会館 | 年度実行計画 FIT2021 フォロー |
| 第2回専門委員会 | 8月30日(月) 10時-12時 | 機械振興会館 1F102 予約済 | 来年度計画, 功労賞他 年度実行計画フォロー 2022年度事業計画 |
| 第3回専門委員会 | 11月27日(土) 10時-12時 | 機械振興会館 | 2022年度体制 総合大会フォロー |
| 第4回専門委員会 | 2月18日(金) 10時-12時 | 機械振興会館 1F102 予約済 | 論文賞選考委員会の立ち上げ 2022年度新体制の提出 |

専門委員会の開催は研究会開催日に合わせた開催とする. 第2回のみ8/30(月)に開催とする.

4. SWIM 研究会活性化

(1)リアルとオンラインの同時開催することの検討

- 山田先生に、機械振興会館での実施を想定して、ネット環境や必要な追加機材の具体的な内容のマニュアルを作成いただく。
- ZOOM は、管理上、信学会のアカウントは使わない前提で、オンラインマニュアルを作成している。その前提で当面は、リアル and/or オンライン、世話人のアカウントあり or なし、世話人の保有機材等で、その都度決定する方針とする。専門委員会も、研究会の開催方法に基づいて、決定する。

5. 論文選考委員会

2020 年度の幹事で、論文選考委員会を発足して、5 月に候補者を提案する。

6. その他

- ワークショップ の論文の「査読がない」表示

「第三回研究会はワークショップ であり、論文は査読されて採択されている。しかし、ダウンロードした PDF では「This article is a technical report without peer review, and its polished and/or extended version may be published elsewhere.」という記載される。信学技法が電子化されるまでは、冊子の表紙に「査読を経へ採択された」という記載があった。現在は論文単独でダウンロードされるため、この査読を経ていることがわからなくなった。

これに対して、以下を要求する。

- ・目次を復活して、その目次に査読付きであることを明記する。
- ・英語の記述(without peer review)を削除する。

- ISS への推薦論文

以下の論文を ISS へ推薦するための審査を実施したところ次の結果となった

論文:「持続可能な開発のための IT と AI がバネと評価」

投票の結果、賛成 3 反対 4 で、研究会推薦論文とすることは否決された。

解説論文としての価値はあるので、学会誌の特集を企画するよう SWIM 研究会としても支援してはどうかという意見があったが、当分野は、AI 学会または経営情報学会のテーマであり、今回は、提案しないこととなった。

以上